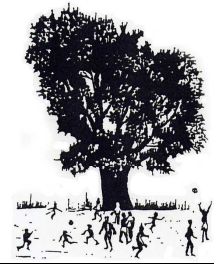


上野原市立
上野原小学校

平成26年度
第5号

発行者
校長 近藤周利



上小っ子

なかよしっぴいの 学校をめぐります

長い夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。今年の夏休みも大きなケガや病気もなく過ごすことができ、とても嬉しく思っています。

さて、一学期は子どもたちに「たのしい学校づくりのアイディア」を聞きました。一番多かったアイディアは「みんながなかよくする」ということでした。上小っ子は、なかよく活動するとどんなことでも楽しくなることを知っていました。

二学期の目標は、上小を「なかよしっぴいの学校」にすることです。まずは運動会です。力を合わせて練習に頑張っています。なかよしっぴいの上小っ子をご覧いただきたいと思います。これからもなかよしっぴいの学校づくり、保護者の皆様、地域の皆様、ご協力をお願いします。

運動会の練習 熱が入ります

今月の二七日(土)は、秋季大運動会です。今年の全体スローガンは、「もえろ上小っ子

(THE★TAKEDA武士
動きがそろってきました)



だましい ありのままでゴーゴー」です。今、子どもたちは毎日練習に励んでいます。本番が近づいてきており、日に日に熱が入り、力強さが増えています。

一・二年生の表現では動きのかわいさについてい微笑んでしまいます。三・四年生の表現は、早いリズムにだんだん動きがそろってきました。五・六年生の組立体操はなんととっても運動会のメインの演技です。練習を積んだ正確な動きと力強さに感動します。練習の成果を發揮した当日の演

技を楽しみにしてください。
応援をよろしくお願いします。
秋空の下で楽しい一日をお過ごしください。



(応援練習、高学年が
低学年を指導します)



幡野たいさん あしがりのつとめ

幡野たいさんのことをご存じの方は多いと思います。幡野さんは水路通りの春木屋さんのおばあちゃんです。今年で九十七歳になります。

幡野さんは、ベルマーク委員会の子どもたちが整理したもの、一枚一枚台紙に貼り付けて、ベルマーク教育助成財団に送れるまでに仕上げてください。もう五十年近く取り組んで下さっています。

財団に問い合わせたところ、上野原小では一九六五年からベルマーク活動を始め、現在までに二三六万五二五二円分の点数が集められ、ピアノを購入したり、ラジカセやボールを購入したりしました。

うっかりすると捨ててしまいう小さなベルマークですが、子どもたちの教育にとっても役に立っています。各家庭のご協力に、ベルマーク委員会の子どもたちの活動に感謝するとともに、約五十年という長きにわたるご尽力にたいさう感謝申し上げます。



PTA奉仕作業
 1参加ありがとうございました
 1名ごまかせ

八月三十一日(日)にPTA奉仕作業が行われました。雨天のため順延となりましたが、保護者の皆様が約百名、六年児童と本校教職員を合わせて、二百二十名を超える皆様にご参加いただき、日頃できない箇所の草取りや清掃をしていただきました。保護者の皆様、お忙しい中をご参加いただきまして、誠にありがとうございました。

ガラスぴかびです



草刈り頑張りました

学習ボランティア
 1協力ありがとうございました
 1名ごまかせ



丁寧に指導いただきました

上手にミシンの操作ができるようになりました



6年の家庭科の授業でミシンを使っているバック作りをしています。子どもたちはミシンを使った経験が少なく、個別の指導が必要になっていきます。例年、保護者に授業の支援をお願いしており、今年も多くの皆様にご協力をいただいております。これからも学校応援団として、学習ボランティアへのご参加をよろしく願います。

危機管理の意識と見守る地域の日

夏休みが明けて、神戸市の一年生の行方不明がとても心配です。九月も半ばを過ぎ、だいぶ日が暮れるのが早くなってきました。各ご家庭では暗くなる前に帰宅しているでしょうか。

通学距離の長い地区からは下校時の児童の安全を心配する声も学校に届いています。学校では、暗くなる前に帰宅するよう指導を進めますが、ご家庭でもお子さんと話し合ったり、実際に通学路を歩いていただいたりして、人家や人気がないところなどの確認をお願いします。

また、登校時には子どもたちが角を曲がるまで、道路を渡るまで見送っていただいたり、下校時には時刻に合わせて、外で迎えていただいたりすること、子どもたちを見守ることです。ご協力をお願いいたします。

ある地域では、子どもたちの下校時刻に合わせて、地域の方々が散歩を兼ねて地域を回ってくださっています。とてもありがたいことです。

通学路点検にご協力を

八月二十日に広島市で発生した豪雨による大規模な土砂災害は記憶に新しいところで、上野原市においても急傾斜地があり、決して油断をすることはならないと思います。学校としても、市が作成したハザードマップをもとに危険箇所を確認しておりますが、子どもたちの通学路で危険な場所はないでしょうか。崩れやすい場所や大雨になると水が滲みやすい場所など、実際に歩いていただき、情報を学校にお寄せください。地震で崩れそうな崖やブロック塀なども心配です。よろしく願います。

ノーテレビ ノーゲーム

「無理、無理」という声が聞こえてきそうですが、ご家庭の状況はいかがでしょうか。時には、テレビを消して、ゲームをしない、そんなひとときを作ってみませんか。

前回ご紹介した「家読(うちどく)」を夏休みに取り組んでいただけましたでしょうか。秋の夜長、家族みんなで読書に挑戦してみましょう。

あしあと

朝、家を出たときに空気の気持ちよさ、空の青さと山の緑の美しさを感じました。そんな気持ちを子どもたちに伝えたいと思いました。気がつくスマートフォン画面やゲームの画面ばかり見えていませんか。ときには、空や山の美しさ、すっかり秋らしくなった空に浮かぶ雲の様子など、お子さんと話してみませんか。顔を上げて、上野原の自然を見つめてみましょう。

夏休みに読んだ新聞記事に、本年度の学力学習状況調査の結果として、平日に一時間以上ゲームをする児童が五四・四%、四時間以上する児童が十%前後いるとありました。

また、文部科学省は、メールやインターネット、ゲームをする時間が長いほど学力調査の正答率が低くなっていることを発表し、「家庭でゲームとの付き合い方を考えてほしい」と注意を促しています。

皆様のご家庭ではいかがでしょうか。

